

## ふくてっく運営会議 アジェンダ

開催日時：平成 24 年 9 月 1 日 例会前 10:00～12:00

開催場所：例会場（大阪市立社会福祉センター 3 階会議室）

参加者：（出席理事・監事） 和泉 小川 荻田 清水 杉浦 中北 畑

（欠席理事・監事） 秋岡 稲住

（その他出席会員） 西川 有馬 長岩 古場

議事進行：中北 書記：中北

### 議題 1. 木工活動を部会管理から本部事業とする件について

#### 1.NPO法人ふくてっくとしての活動主旨の確認・基本方針

No.	項目	検討内容
1	安心できる活動基盤（基地）整備 ・安心を脅かさない ・主体性を侵害しない	現、木工部員にとって
2		ふくてっく全メンバーにとって
3	共感的対応 ・共有できるテーマを用意する ・テーマを押し付けない	現、木工部員に対して
4		ふくてっく全メンバーに対して
5	成長を支援する総合的視点 ・自己を振り返る習慣をもつ ・一歩先を見て前に進む	現、木工部員の課題として
6		ふくてっく全メンバーの課題として
7		市民あるいは委託者に対して ・市民や委託者は何を求めているか
8	NPO 活動における 社会貢献性と事業性のバランス	木工活動によって達成できる、ふくてっくの ミッションとは何？
9		ふくてっく会計をマクロにとらえて 木工活動経費を本部補てんできる限度は？

#### 木工活動の社会的意義について

これまでの活動を振り返って

- ①道具の使い方を手ほどきし、手づくりの習慣（文化）を植え付ける
- ②小さなけがも経ながら、大きなけがを回避する防衛能力を身に着けさせる
- ③自然素材に触れ、そのよさを理解させる
- ④与えられるより、自分でつくる喜びを与え、自信を持たせる
- ⑤以上を総合して、児童の心身の健全な育成を導く

上記の意義が確認できる。

また、木工を応用したリハビリ用具の開発なども、その発端をつかみながらその後の発展はないが、大きな意義を感じさせる。

#### 反省点として

- ①ふくてっく発足当初における、全会的な活動から、いつしか乖離する傾向が生じ、全会の活動理念との整合や、全会員の参加という観点がやや薄れて、特定会員の活動に偏る状況となった。
- ②NPO 法人の活動として、社会貢献性と事業収支のバランスという課題への対応が社会状況の変化等による困難さゆえとはいいながら、効果的な策を持ちえず、この点においても、全会的な意識の共有を踏れなかった。

#### 今後の基本方針

- ①以上の活動意義を再確認し、ふくてっく全会の活動事業として本部の運営とする。
- ②大半の工具を破棄したことを是とし、その環境のなかでなしうることを目指す。

## 2. 当面の予定活動への対応

- ①大阪風船バレー普及協会からの製作依頼  
既に依頼を受け、製作中（1000円／個で10個）  
9月10日に納品して完了する。
- ②10月さざなみ木工教室（高齢者向け木工教室） 住之江区社協  
現時点において取組の要請はとどいていない。  
→確認の上、本年の作家は辞退する旨、伝える。
- ②11月23日池島まつり 社福海の子の家  
本年、正式な依頼は届いていないが、昨年に次期も頼むと言われており  
さらに本年の暑中見舞いにも、同趣旨の記載があった。  
→鋭意取り組む方針とする。  
ただ、当方の体制が、工具を破棄していることなど、昨年とは違うことを  
先方にも伝え、どのような取組とするか早期に協議する必要がある。
- ③4月大阪市こどもカーニバル  
OCVIC担当者の表現では、ふくてっくの参加に必ずしも拘っていない。  
→参加ありき、という対応はとらない。
- ④エフエー親子木工教室  
費用面が折り合わないので、ふくてっく側からすでにお断りしている経緯が  
ある。  
→再確認の上、ここでも当方の体制変化を伝えて協議する。

## 3. 活動事業化計画／参加会員の活動費支給その他費用の支弁規定

ふくてっくの活動として、社会貢献性が認められ、ふくてっくの理念・活動方針に副うのであれば、そしてそれが全会的に理解を得られるのであれば、活動に要する材料費等の実費を会全体で負担することを是とする。  
ただ、その他の活動がそうであるように、そのようなケースにおける活動会員の参加は交通費を含め無償活動とすべきである。  
材料費等の会負担がなく取り組める事業については、その都度、収支の範囲で活動費を勘案すればよい。

## 4. 担当理事の選任

外部からの問い合わせや、企画要請などの受付窓口は事務局とする。  
担当理事については  
事業担当理事（畑）は、特に本年は多忙であることを理由に辞退。  
代表理事（小川）が、当面の対応に当たりながら、新体制確立までの担当理事とする。

## 5. その他

トランクルームは8/25に明け渡し完了  
処分費用については大和建設からの請求を受けて本部が負担する。

## 議題2. 20周年事業について

### 1. 基本方針

前会までの確認事項として、10周年の際のような記念誌はつくらない。  
20年の活動継続を祝い、感謝する会（パーティ形式）としたい（畑会員）。  
開催期日：年度替わりを避け、25年10月とする。  
会 場：ケイタリングが許容される会場とし、極力経費を圧縮する。  
招待者：案1（畑）過去にお世話になった方々（退会した会員は呼びたくない）。  
案2（清水）過去に会員であった方にこそ感謝すべき。  
案3（中北）過去の会員を拒絶する理由はない。  
お世話になった方をどう定義し選別するか、一人ではできない。

その他

記念誌はつくらないとはいえ、11～20年の間の活動経過概要をまとめて会場に示す必要がある。→ 畑会員が取り組む  
いずれにしても、多くの会員の賛同できる催しとしたい。

## 2.委員会構成

委員長 有馬定夫  
委員長代理 畑 俊治  
委員 近々に選考して（畑会員が呼びかけ）委員会を構成する。

## 議題3. 会員増強について

会員増強に取り組まない組織は会員の自然減と高齢化を避けることができず活動は衰退し、やがて消滅します。それを是とするか否とするか・・・  
役員の意識確認（意識と行動は一致しているか？）  
現理事会は下記マトリックスのどこに属する？

A 増強したいと思い、そのように取り組む	B (増強したいと思うが、あえて取り組まない) ←言動不一致
C (増強の必要はないが増強に取り組む) ←これはないはず	D 増強の必要はないと思い、取組もしない

会員を新規に増強する以前に

①退会防止と②会員親睦が大切。

①については、活動を共にする仲間同士で、よく気を配る。

②については、親睦担当メンバーを中心に、例会等において配慮を怠らない。

新規会員増強について

上記マトリックスのAを（そこにも様々なニュアンスがあるが）

会をただ存続させるため（あるいは会費収入を増加するため）に会員を集めるという意味であれば、必ずしもこれを是としない。

そうではない、より本質的な意味でのAは、最も目指すべきではあり、気持ちとしてそうであると自負しつつも、現実にはBになっていることを認めざるを得ない。

Dにも様々なニュアンスがある。

決して諦観的ではなく、（形骸的なAに陥るのではなく）現メンバーの活動が現メンバーにとって大いに参加意義をもたらすものであることこそが会の魅力となり、それをあまねく発信することによって寄るべき会員が必然に集まる、そのような姿勢を取りたい。

具体の提案

①活動魅力のアピールを強化する。

②活発な活動に外部から新規参加メンバーを勧誘する。

③学習会の告知を効果的に行って、例会への部員外参加を増やす。

④大学等への働きかけ

## 議題4. 認定NPO法人格取得について

発議者である畑理事より

本件については発議を撤回する。

## 議題5. 企業とのコラボ企画（OCVICからの協力依頼）について

OCVICが実施してきた異業種交流ライブ（NPO、企業＜行政）の中から～

（株）ノダが大阪シュールーム内に開設した「バリアフリー発見体験ゾーン」に

ふくてっくの意見（①より市民に利用していただくために ②体験ゾーンのしつらえ

へのアドバイス)を求めたいとの要請があった。

9月19日10:30~11:30 他のNPO等との合同見学会に参加してアドバイスする。

場所 : 大阪市西区土佐堀1-4-11 (金鳥土佐堀ビル1階) 地下鉄肥後橋

参加予定: 小川・清水・杉浦・中北

## 議題6. 建物保全コンサル(こむねっと部会の新たな事業展開)について

中北事務所への業務依頼の中に、こむねっとが予め提唱してきた建物長期保全コンサルティング業務への展望が開けてきた。

- ①バブル期後半の、けっこう力の入った建物(5階1115㎡)を福祉施設にするリノベーション(長期に亘って使用停止していたので設備等の根本的調査を要す)
- ②築25年超の特養の、空調システムを中心とする設備大改修

中北: 今回の業務にふくてつくが一部加担しつつ、これを契機として新規事業を立ち上げたいが、ふくてつくの活動としてふさわしいかどうか?

清水: これは本来中北会員の本来の本業であり、気持ちは多とするが、安易にふくてつくに持ち込むことはいかがなものか。

必然的に関与できる会員資質は建築士に限定されるので、よろしくない。

荻田: 細かいことにはこだわらずに、新しい芽が期待できるのであれば、大いにやるべし。

小川: 現時点では、どのメンバーが参加しても実質的に成果に帰結できる力はふくてつくにはない。中北会員が個人的に進めるのがよい。

以上の議論を踏まえ、

今回の上記2件は、中北AO単独の事業とし、個人的にふくてつく会員の参加を勧誘する。その業務遂行の中から、将来的にふくてつくのミッションとできるテーマを見つけて、どのように発展させてゆくかを検討する。

## その他議題

### ① すべらんうどんによる、障害者就労事業

岡会員の「すべらんうどん」の製造～販売過程に、障害者就労を実現する協議が大阪市立中央授産場の協力を得て、にわかに進展している。

これを、障害者の就労支援事業の発端として発展させてゆきたい。

### ② 奈良ホテル

奈良ホテルは、明治42年関西の迎賓館として開設され、既に100年余を経ている。

このたびそのバリアフリー化を図ることとなり、奈良ホテル社長から畑会員を通じて、ふくてつくからアドバイスを求めたいとの依頼があった。

近々に、畑会員が同ホテルを訪ね、依頼内容を詳しく聞いたうえで、9月15日の住研部会で取組を検討したい。

### ③ 11.23「東北・関西ポジティブ生活文化交流祭」2012 出展者募集

NPO日常生活支援ネットワーク(パーティ・パーティ)から、本年も11月23日に実施される「東北・関西ポジティブ生活文化交流祭」への出展募集が来ている。

当日は、池島祭りへの取組に集中したいので、参加は見送る。

### ④ みちのくTRY～復興に向けて障害者にも住める街づくり Tシャツ販売協力要請

被災地障がい者センターいわてから復興支援のTシャツ購入のお願いが届いている。会としての取組は見送る。

次回運営委員会

12月1日(土)

10:00(議題内容により開始時刻調整)～